

自然災害に対する備え(ハード施設)/ 国土強靱化、伝統技術、等

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会
廣原、小貫

講義内容

1. 国土強靱化の概要
2. 国土強靱化計画の対策期間
3. 国土強靱化の施策について
4. 伝統技術
5. まとめ

1. 国土強靱化の概要

国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)とは、大規模自然災害が発生しても、人命を守り、社会経済への致命的な被害を回避し、迅速な回復を可能にする「強さとしなやかさ」を備えた国づくりを目指す国家的な取組です。東日本大震災の教訓を基に、「自助・共助・公助」を組み合わせ、将来の気候変動や社会変化にも対応できるよう、事前防災・減災と復旧・復興能力の強化を目指す「国家百年の大計」とも言える取組みです。

2026年度は、従来の「5か年加速化対策」が終了し、新たに「第1次国土強靱化実施中期計画」が始動する重要な節目の年となります。近年、日本及び世界各地で自然災害が多発し、激甚化しております。